

「薬剤の血管外漏出に関する実態調査」について

○研究の目的

抗がん剤の血管外漏出予防ガイドラインが提示されて以降、血管外漏出を予防し早期に適切な治療をするため、漏出リスクの高い患者背景、薬剤等の医療従事者への周知が進んでいます。このように予防対策が行われている状況で、実際にはどの程度回避困難な血管外漏出が起きているのか、漏出時障害がみられる薬は何かあげられるか、またその処置法が明示されていない薬についてどのような処置が選択されているのか等について実態を把握し、科学的裏付けを検証する際の資料とします。

○研究の方法

平成 25 年 10 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日までに、広島大学病院で薬剤による血管外漏出で皮膚科に紹介受診された患者を対象とします。本研究は全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。

カルテから転記する内容は①患者基本情報②投薬歴③処置後経過です。（個人が特定出来る情報は転記しません）本研究は広島大学病院のみで実施します。

（研究期間 承認後～平成 32 年 3 月 31 日）

○個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心下さい。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせ下さい。

* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出頂いても今後の診療等に不利益が生ずることは有りません。

.....

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

広島大学病院 薬剤部 教授

薬剤師

T e l : 082-257-5572

松尾裕彰（研究責任者）

柴田ゆうか（担当者）